

行政視察報告書

2009年7月16日

大分市議会議員 福間健治

視察地—寝屋川市、西宮市

視察日時—2009年7月13日~14日

視察項目—国民健康保険について

調査項目

- 1、予算・決算の状況
- 2、国保税の推移
- 3、値下げの経過と背景
- 4、資格証明書・短期保険証の取り扱い
- 5、特定検診・保健指導の取り組み
- 6、国保制度改善求める市民運動
- 7、収納対策
- 8、特筆する独自の保健事業
- 9、国保税・一部負担金減免措置の基準

視察の所感

今回の視察は、国保税を値下げした自治体から学ぶことを目的にして、昨年度また今年度国保税を値下げした2市をえらびました。

値下げの背景—両市とも、国保税負担に耐えがたいものとの市民の声を背景にして、市議会一般質問、国保運営協議会などで議論となっていること。また西宮市では、新任の市民局長が国保税の高さにびっくりし、市長など上司への働きかけを強めてきたことなどがありました。

値下げ幅について—寝屋川市では、医療給付分所得割り10・9%から8・5%への引き下げなどの引き下げによるものです。均等割り4060円、平等割り3320円も一律に引き下げたものです。

西宮市では、2億5千万円の一般会計からの繰り入れにより1・5億円は、医療給付分の所得わり、均等割り、平等割りを一律引き下げ、残り1億円で低所得者、多人数世帯に配慮して値下げを実施していました。また低所得者への減免制度の拡充もされています。大分市でも改善を図ることを痛感させられました。

資格証明書の取り扱い—両市とも、資格証明書の発行は収納対策としては、なんら役にたっていないとの実態から極力ださない方針とのこと。

特定検診・保健指導について—医師会との委託契約で民間医療機関での検診が検診率を向上させています。大分でも早期の実施が期待されます。

大分市においても、高い国保税から安心して払える国保税にしていくためのいっそうの努力を求めていると考えています。